

\*\*\*\*\*

開講科目名：情報システム論研究 (4単位)  
開設年次：1年  
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻  
担当者：柴田 良一

\*\*\*\*\*

## 《授業の概要》

### 【授業の目標】

「情報」は「人」「もの」「金」に次ぐ第4の経営資源である。企業経営を理解するためにはこれらの経営資源が企業内でどのように使われているかが大変重要なことである。「人」「もの」「金」が移動するとこれにともなって「情報」も移動する。「情報」の動きが的確に把握できれば企業の動きが理解できる。この講義では、「情報」を通して企業活動を考察することである。具体的には、情報システムの基盤であるデータベースの構造を通して企業の動きを考える。

### 【授業の内容】

1. 情報システムについて  
各分野の具体的な情報システムに関する事例を通して、企業における情報システムの役割を考える。次に、情報システムがどのような構造を持っているかを考える。
2. データベースについて  
製品を作る工場であれば、製品の良し悪しは部品の管理に大きく依存している。情報システムの製品である「情報」を構成している部品は「データ」である。製品としての「情報」の品質は「データ」のそれに依存する。そのため、情報システムにとって、データを合理的に管理する必要がある。ここでは、データの管理について考える。
3. データベースに関しての事例  
いくつかの企業について具体的な事例で、データ構造を“読む”ことを実践する。
4. データ構造から企業を見る  
データ構造を通して、企業の業務を考察する。

- 第01回 情報システムと社会の変遷
- 第02回 情報システムとは？ システム、情報、データについて
- 第03回 情報システムの事例研究1 コンビニ
- 第04回 情報システムの事例研究2 宅配便
- 第05回 情報システムの事例研究3 ネットワークビジネス
- 第06回 コンピュータの変遷1 共用コンピュータ歴史
- 第07回 コンピュータの変遷2 パーソナルコンピュータ歴史
- 第08回 コンピュータの基礎
- 第09回 情報システムの変遷1 第1世代から第3世代の情報システム
- 第10回 情報システムの変遷2 第4世代から現在に至る情報システム
- 第11回 情報システムの変遷3 今日の情報システム
- 第12回 ノーランのステージ論を考える
- 第13回 最新情報通信技術と情報システム
- 第14回 情報システムの信頼性
- 第15回 前期の補足とまとめ
- 第16回 情報システム設計開発 物作りと情報システム設計開発
- 第17回 情報システムのモデル 情報システムの構造化
- 第18回 データ管理
- 第19回 データベースと情報資源管理
- 第20回 データモデルについて
- 第21回 データの正規化について
- 第22回 データ構造図について
- 第23回 データ構造の事例研究1 コンビニ
- 第24回 データ構造の事例研究2 学務システム
- 第25回 データ構造の事例研究3 在庫管理
- 第26回 ビジネスルールとデータ構造の関係1

第27回ビジネスルールとデータ構造の関係 2  
第28回ビジネスルールとデータ構造の関係 3  
第29回情報資源管理の意味  
第30回全体の補足とまとめ

## 2. 評価方法

受講状況、レポートおよび定期試験に基づき評価する。

## 《テキスト》

なし

## 《参考書》

市毛 明 著「システム設計」 中央経済社  
柴田、中村 共著「情報処理とコンピュータ」 学術図書出版社  
日経B P社 「日経ビジネス」